

愛知中小企業家同友会景況調査報告

— 1998年5月 —

景気底割れで、サバイバル競争激化か

【概況】

業況がさらなる悪化を示しています。業況判断を「よい」とする企業は全体の1割にも満たない8%まで落ち込んだのに加えて、「悪い」と答える企業が全体の6割を超えてしまいました。前者から後者を差し引いた「業況判断」DIは△53を示し、1997年2月以来6期連続で悪化する結果となっただけでなく、3期連続で調査開始(1994年2月)以来の最悪水準を更新することになりました。

こうした調査結果は、①景況悪化の契機となった国内消費需要の落ち込みが生産・投資の停滞をもたらしたことで、これまで相対的に好調を維持してきた製造業にも不況感が広がったこと、②内需の落ち込みを輸出増で補うという従来の方式が、アジアの経済危機の発生とともにはや困難になったこと、③貿易摩擦再燃の懸念からアメリカ向け輸出のむやみな増加も避けなければならないことなど、内外需の低迷を反映して日本が現在深刻な「閉塞状況」にあることを示しています。財政出動による官公需の増加も、こうした「閉塞感」を払拭するほどの効果は期待できず、ある程度の下支え効果はあっても、消費や投資を積極化させるほどのものではないと思われます。すでに「需要低迷→企業間競争の激化→価格低下→利益縮小」という循環も見られ、今回のヒアリング調査でも「他社が倒産しなければ、価格も下げ止まらず、収益率は上昇しない」との声が多く聞かれました。需要増ではなく、倒産などによる供給側の整理・縮小に期待せざるをえないこと自体、今後も、当分の間は、深刻なサバイバル競争の展開を含む厳しい状況が続くことを予感させます。政府には、今こそ「閉塞感」を打破しうるような鮮明な国家ビジョンの提示が求められます。

【調査要項】

- ①調査時 1998年5月26日～6月3日
- ②対象企業 愛知中小企業家同友会、会員企業
- ③調査方法 調査書をFAXで発送、自記入、FAXで回収
- ④回答企業 645社より、192社の回答をえた(回収率29.8%)
(建設業26社、製造業71社、流通・商業57社、サービス業38社)
- ⑤平均従業員 26.2人

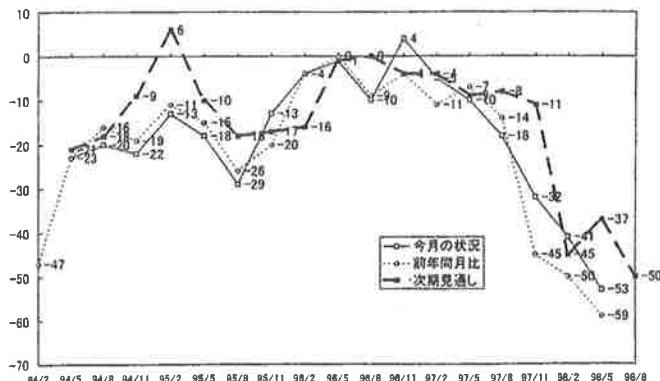
なお、本報告は愛知中小企業家同友会情報ネットワーク委員会(委員長、村上琇樹・村上電気工業(株)社長)が実施した調査結果をもとに、景況分析会議(座長、山口義行立教大学助教授)での検討を経てなされたものである。

【業況判断】

業況判断最悪を更新

「今月の状況」DIは3期連続で調査開始以来最悪の結果を更新した。6期連続で「悪い」超過幅が拡大し、前回調査比12ポイント悪化の $\Delta 53$ となった。これは「よい」と答えた企業が前回比5%減少したのに加え、「悪い」と答えた企業が全体で7%増加したためである。業種別では、前回大幅に悪化したサービス業が43ポイントの大幅な回復($\Delta 53 \rightarrow \Delta 10$)を示したものの、他の3業種は押し並べて悪化した。なかでも流通業では74%の企業が「悪い」と答え、前回の $\Delta 39$ から今回 $\Delta 74$ と35ポイントの大幅な悪化を示した。また、建設業($\Delta 48 \rightarrow \Delta 65$)、製造業($\Delta 33 \rightarrow \Delta 52$)においても大幅な悪化を示している。前年同月比でも全業種で $\Delta 59$ と前回比9ポイント悪化し、調査開始以来最悪の結果となった。サービス業が大幅な回復を示した以外は、流通業($\Delta 48 \rightarrow \Delta 80$)、建設業($\Delta 65 \rightarrow \Delta 72$)、製造業($\Delta 40 \rightarrow \Delta 59$)とそれぞれ悪化を示した。建設業と製造業では7割強の企業が、流通業においては85%の企業が前年同月比で「悪化」したと答えた。また、次期見通し(全業種)においても $\Delta 50$ と、先行き悪化を見通す企業が大半を占めている。

業況判断DI(全業種)

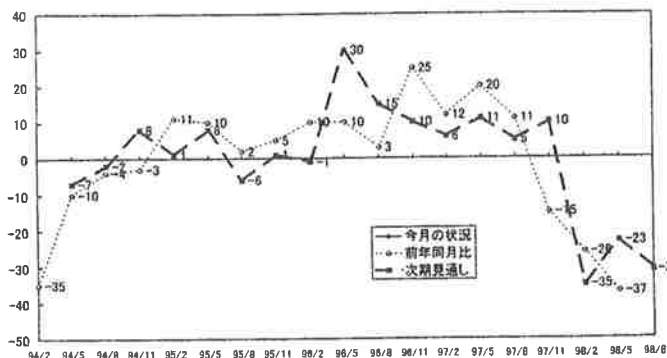


【売上高】 【経常利益】

売上高、経常利益ともに最悪を更新

売上高DI(前年同月比)は前回比11ポイントの大幅な悪化を示し $\Delta 37$ となり、調査開始以来最悪の結果となった。業種別で見ると建設業が57ポイント悪化($\Delta 14 \rightarrow \Delta 71$)し、製造業($\Delta 17 \rightarrow \Delta 44$)も27ポイント悪化とそれぞれ大幅な悪化を示した。流通業は3ポイント改善の $\Delta 35$ 、サービス業は34ポイントと大幅な改善を示して $\Delta 5$ となった。また次期見通しにおいても半分以上の企業が売上高の「減少」を見通しており、先行き不安感のぬぐえない状況が依然として続いている。

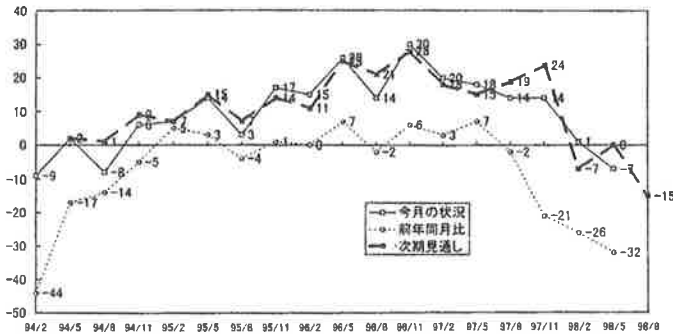
売上高推移DI(全業種)



経常利益DI(前年同月比)

も6ポイント悪化の $\Delta 32$ と3期連続で調査開始以来最悪の結果となった。売上高同様、建設業($\Delta 30 \rightarrow \Delta 46$)製造業($\Delta 15 \rightarrow \Delta 39$)で大幅な悪化を示し、流通業($\Delta 43 \rightarrow \Delta 34$)サービス業で($\Delta 27 \rightarrow \Delta 5$)改善が見られた。次期見通しにおいては、流通業を除く3業種で「赤字」を見通す企業が「黒字」を見通す企業を上回っている。

経常利益推移DI(全業種)



感」も16→15と若干薄らいだ。次期見通しでは6と、先行き在庫過剰を見通す企業が減少を見通す企業を上回っている。

【在庫】

「減少」超過に転じ、
「過剰感」薄らぐ

前年同月比でみた在庫DIは△6と「減少」超過に転じた。これは在庫が「減少」したとする企業が3%増加する一方で、「増加」したと回答する企業が8%減少したためである。業種別では製造業(6→△2)流通業(3→△11)ともに「減少」超過に転じている。また「在庫過剰

【価格変動】 【取引条件】

価格の低下続く

価格変動DI(前年同月比)は5期連続で「低下」超過幅が拡大し、全業種で3ポイント悪化の△51となった。業種別ではサービス業(△54→△18)で大幅に「低下」超過幅が縮小したが、それ以外の3業種では押し並べて悪化を示した。なかでも建設業においては8割近い企業が「低下」と回答し、DI値は△54→△72と「低下」超過幅が大幅に拡大したのが目立つ。需要低迷の中での生き残りをかけた競争激化が価格低下をもたらしているものと考えられる。一方、取引条件DI(前年同月比)は△29→△27と2ポイント改善したものの、依然として大幅な「悪化」超過状態にある。次期見通しでも先行き価格低下・取引条件悪化を見通す企業が多い。

【資金繰り】

「窮屈感」増す。見通しにも厳しさ

資金繰りDIは△32→△34と2ポイント悪化し、97年11月調査以来2期連続の悪化となった。業種別で見ると、サービス業(△46→△8)が大幅な改善を示したほか、建設業(△48→△41)でも改善が見られた。その一方で、製造業(△19→△28)で9ポイント悪化し、流通業(△28→△51)では23ポイントの大幅な悪化が見られた。また「次期見通し」においても半分以上の企業が「悪化」を見通しており、DI値も△43となった。

【施設稼働率】 【設備過不足】

設備「過剰」超過に転じる

前年同月比でみた施設稼働率DIは△19→△31と前回調査に比べ12ポイント「低下」超過幅拡大した。流通業は1ポイント、製造業では22ポイントと大幅に「低下」超過幅が拡大し△43となった。また、次期見通しでも△30と先行き稼働率「低下」を見通す企業が「上昇」を見通す企業を大幅に上回る状況が続いている。また、設備過不足DIは前回の△4から今回8へと、94年11月調査以来の「過剰」超過に転じた。業種別では、建設業(8→△6)で「不足」超過に転じる一方、流通業(△10→△5)とサービス業(△18→△4)で「不足」超過幅が縮小し、製造業では前回の0から今回25と大幅な「過剰」超過に転じた。

【雇用】

「過剰」超過に転じる

全業種で見た雇用動向は△6→12と、95年5月調査以来の「過剰」超過に転じた。これは雇用が「不足」していると答えた企業が9%減少し、加えて「過剰」であると判断している企業が9%増加したためである。業種別では、サービス業が依然として「不足」超過状態にあるものの、他の3業種では「過剰」超過幅が拡大した。とりわけ、建設業(4→28)と製造業(4→28)での「過剰」超過が目立つ。

【経営上の力点など】

引き続き「民間需要の停滞」がトップ

「経営上の問題点」の項目では、引き続き「民間需要の停滞」が1位であった。業種別では全ての業種で増加が見られたが、とりわけ建設業では81%の企業が問題点としてあげているのが目立っており、民需落ち込みの打撃の大きさを窺わせている。第2位は前回に引き続き「販売先の値下げ要請」であった。「経営上の力点」については、依然として「新規受注(顧客)の確保」「付加価値の増大」が高い比重を占めている。

<会員の声>

(OA機器関係)

業界ではウィンドウズ98がリリースされるということは明るい話題です。しかし95の時のように大ブレイクするかは疑問です。二千年問題が迫り、コンピュータの保守で現在忙しい状況です。

(金型部品卸)

金型関係では、今秋までは仕事は少ないし、仕事のある人、ない人の格差が激しい。3年以内に約半数が倒産するのではないかとされています。

(旅行業)

旅行代理店は互いに単価のたたきあいをし、互いの首を絞めている。ワールドカップのため、フランス便が大手に独占され中小業者では取れない。また煙害でインドネシア・マレーシアには旅行者が行かないため、単価が下がっている。

(保険代理店)

今年七月までの自由化で今までの認可制が届出制になり、外資系が入ってきて、業界の整理が行われている。もうすでに値下げ競争が進行しており、全国で損保代理店は五十万件あるが、一千万円以下の取り扱い額の代理店は大手から取引を拒まれ、数年先には1/3の十五万件くらいになるだろうと予想されている。

愛知中小企業家同友会景況調査報告 No.18

1998年 6月25日発行

編集・発行 愛知中小企業家同友会
情報ネットワーク委員会

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目5-18京枝屋ビル4階
電話 052(971)2671(代) ファクシミリ 052(971)5406

【資料】DI値推移一覧

<今月の状況>

経常利益DI

	94年				95年				96年				97年				98年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「黒字」-「赤字」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-9	2	-8	6	7	14	3	17	15	26	14	30	20	18	14	14	1	-7

在庫感DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	19	25	15	15	8	16	18	13	10	18	12	11	19	22	7	10	16	15

資金繰りDI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「余裕」-「窮乏」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-43	-33	-39	-41	-38	-34	-34	-28	-32	-27	-30	-32	-28	-29	-29	-27	-32	-34

設備過不足DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	10	7	3	5	-4	-2	-1	-5	-8	-11	-8	-21	-16	-14	-13	-5	-4	8

雇用動向DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「過剰」-「不足」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	11	7	-2	1	-8	2	-1	-3	-14	-7	-11	-22	-17	-11	-22	-8	-6	12

業況判断DI

		5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「良い」-「悪い」		5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種		-23	-20	-22	-13	-18	-29	-13	-4	-1	-10	4	-5	-10	-18	-32	-41	-53
建設業		-9	-29	-36	-30	-12	-12	-30	-20	-11	-10	0	18	-35	-29	-41	-48	-65
製造業		-33	-23	-17	-8	-29	-40	-14	-2	2	-4	0	-4	-9	-2	-25	-33	-52
流通業		-30	-13	-18	-7	-25	-7	0	-15	-6	-38	0	-31	-14	-28	-49	-39	-74
サービス業		-11	-12	-24	-17	0	-44	-8	33	7	7	12	4	9	-26	-21	-53	-10

<前年同月比>

売上高DI

	94年				95年				96年				97年				98年	
	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「増加」-「減少」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-35	-10	-4	-3	11	10	2	5	10	10	3	25	12	20	11	-15	-26	-37

経常利益DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「好転」-「悪化」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-44	-17	-14	-5	5	3	-4	1	0	7	-2	6	3	7	-2	-21	-26	-32

在庫感DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「増加」-「減少」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	14	-10	-7	6	6	5	4	2	0	7	6	3	16	6	-1	2	5	-6

価格変動DI

	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
「上昇」-「低下」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-61	-59	-53	-56	-47	-48	-49	-52	-34	-35	-31	-28	-26	-29	-34	-42	-48	-51

<前年同月比>

取引条件D I

「好転」-「悪化」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-26	-21	-22	-24	-29	-19	-21	-21	-14	-11	-17	-18	-18	-14	-16	-21	-29	-27

施設稼働率D I

「上昇」-「低下」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-40	-20	6	2	4	-16	-8	-2	6	7	-3	19	4	10	-8	-4	-19	-31

業況判断D I

「好転」-「悪化」	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月
全業種	-47	-23	-16	-19	-11	-15	-26	-20	-4	0	-9	-4	-11	-7	-14	-45	-50	-59
建設業	-47	-25	-32	-21	-32	-27	-9	-20	-8	-10	-22	-12	-19	-35	-23	-48	-65	-72
製造業	-53	-20	-17	-21	-3	-28	-40	-20	-5	8	3	-4	3	0	-3	-41	-40	-59
流通業	-44	-26	-20	-15	7	0	5	-13	-15	-6	-35	-21	-35	-17	-23	-65	-48	-80
サービス業	-41	-24	5	-16	-29	0	-39	-23	30	4	14	10	0	13	-10	-31	-63	-12

<次期(3ヶ月先)見通し> (表内はその月に対する予測)

売上高D I

	94年			95年				96年				97年				98年		
「増加」-「減少」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-7	-2	8	1	8	-6	1	-1	30	15	10	6	11	5	10	-35	-23	-31

経常利益D I

「黒字」-「赤字」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	2	1	9	7	15	7	14	11	25	21	28	18	15	19	24	-7	0	-15

在庫感D I

「過剰」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	10	15	8	8	10	11	13	9	10	7	9	11	11	7	4	6	15	6

価格変動D I

「上昇」-「低下」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-40	-41	-41	-42	-36	-42	-35	-44	-26	-29	-21	-26	-24	-21	-25	-43	-43	-52

取引条件D I

「好転」-「悪化」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-18	-19	-19	-20	-24	-17	-18	-20	-4	-12	-12	-17	-14	-11	-13	-27	-29	-29

資金繰りD I

「余裕」-「窮乏」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-46	-39	-40	-46	-43	-39	-35	-36	-37	-30	-33	-42	-30	-28	-30	-42	-38	-43

施設稼働率D I

「上昇」-「低下」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-14	-10	4	-5	9	-19	-5	1	3	-2	4	7	-3	4	3	-14	-17	-30

設備過不足D I

「過剰」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	7	7	2	-1	-10	-3	-4	-2	-14	-8	-10	-11	-15	-16	-9	-1	3	5

<次期（3ヶ月先）見通し> (表内はその月に対する予測)

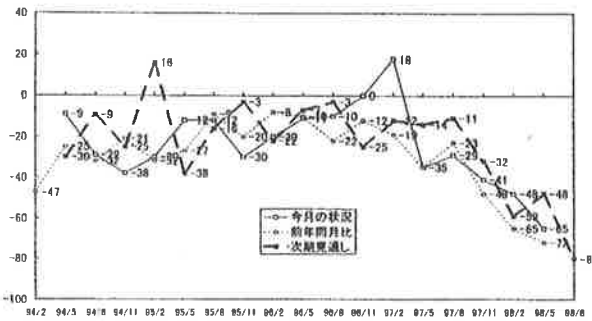
雇用動向D I

「過剰」-「不足」	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	4	6	-4	-18	-4	1	-1	-3	-13	-8	-15	-21	-8	-13	-19	-10	1	13

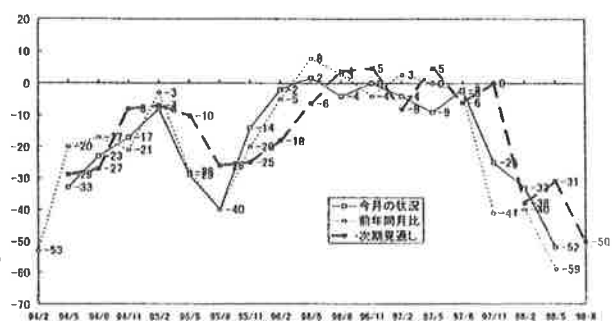
業況判断D I

「良い」-「悪い」	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月
全業種	-18	-9	6	-10	-18	-17	-16	-1	0	-4	-4	-9	-8	-11	-45	-37	-50
建設業	-9	-25	16	-38	-16	-3	-22	-7	-3	-25	-12	-14	-11	-32	-59	-48	-80
製造業	-27	-8	-7	-10	-26	-25	-18	-6	4	5	-8	5	-6	0	-38	-31	-50
流通業	-21	-4	24	7	-7	6	-7	0	-4	-11	-12	-33	-18	-13	-59	-45	-65
サービス業	-11	1	6	0	-16	-31	-16	24	0	8	13	0	2	-9	-33	-35	-4

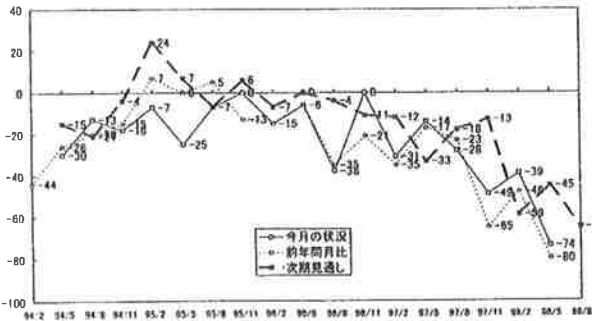
業況判断DI(建設業)



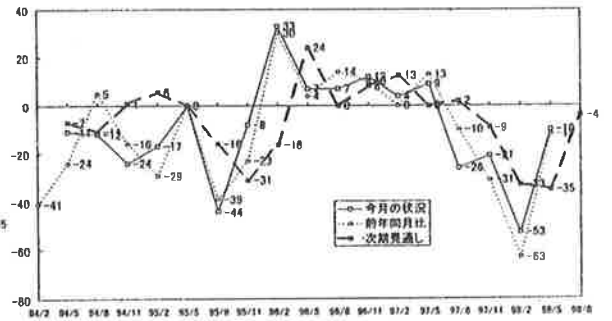
業況判断DI(製造業)



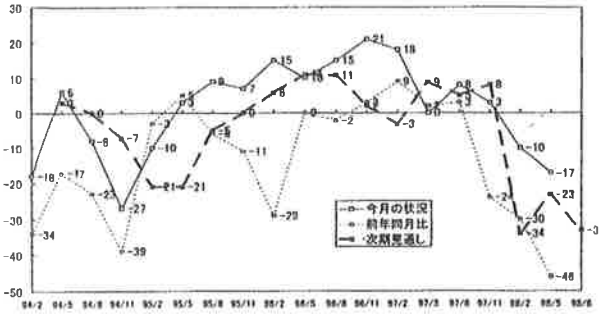
業況判断DI(流通業)



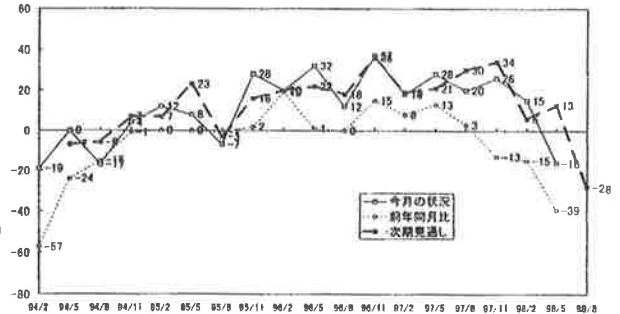
業況判断DI(サービス業)



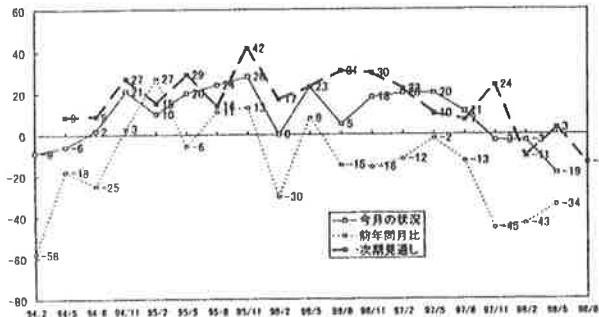
経常利益推移DI(建設業)



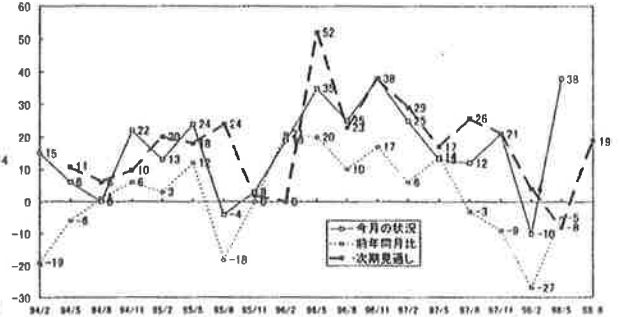
経常利益推移DI(製造業)



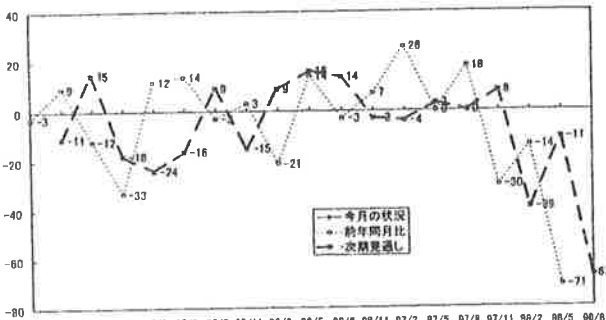
経常利益推移DI(流通業)



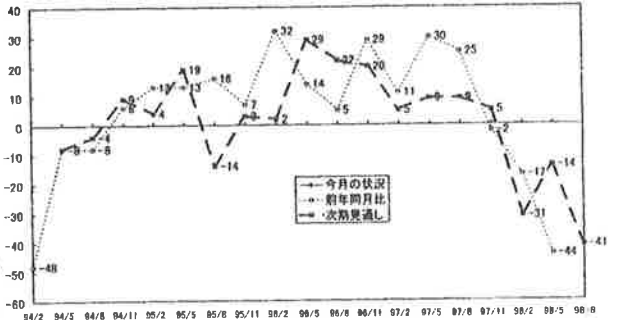
経常利益推移DI(サービス業)



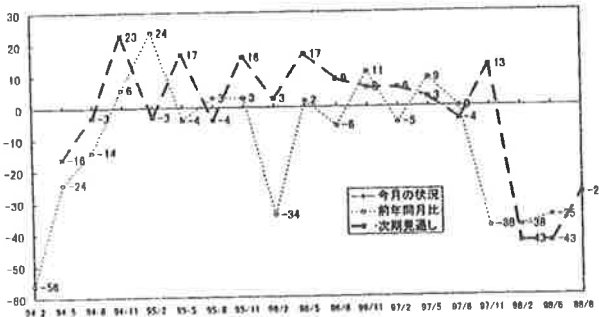
売上高推移DI(建設業)



売上高推移DI(製造業)



売上高推移DI(流通業)



売上高推移DI(サービス業)

